

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中小企業資金融資運営委員会事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	07	01	02	01	02
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課				
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内店舗・工場・事業所・営業所を有する法人及び個人	意図	市内中小企業者に適正に資金融資を行うために設置した。
事業内容	市内中小企業者に対する資金融資に関し、必要な調査及び審議を行い、必要があれば市長に対し建議をする。			
事業開始から現在までの状況変化	金融機関の職員、商工関係団体の役員、中小企業を代表する者、公募による2名の市民を加え合計6名で開催。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	融資運営委員会の開催回数	2	2	2	回	→→	実績から
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 前年度の融資実績や現在の融資状況、本事業に対する課題について意見を聴取し、資金融資事業を適正に行うための附属機関として機能している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		834,350	817,520	789,920				
事業費(b)(円)		79,200	79,200	64,800				
うち一般財源		79,200	79,200	64,800				
職員給与費(c)(円)		755,150	738,320	725,120				
人役・職員(人)		0.11	0.11	0.11				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	「審議会委員の選任及び会議の公開等に関する指針」に基づき、女性委員に登用に努めながら新たな委員の選出を行う。	③取組における課題(Check)	・本市の融資制度を利用する事業者が減少している。 ・女性委員について公募等により努めたが、女性委員の登用には至らなかった。
②H30に実施した取組(Do)	本市の融資制度は勿論、国や県の融資制度を説明し、本市の融資制度についての意見交換を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	より利用しやすい市融資制度構築のため、他市町村の融資制度を研究していく。